# サプライチェーンにおける社会的責任の推進

当社グループは、サプライチェーン全体での社会的責任を果たすため、世界各地のお取引先とともに、責任ある調達に取り組んでいます。社会の期待に応え、相互信頼と協働の考え方に基づいて、製造委託先とともにCSR調達を推進することが、製造委託先と当社共通の利益を最大化し、双方の持続的成長に資するものと考え、積極的な取り組みに努めています。

## 相互信頼と協働に基づくCSR調達の推進

繊維・アパレル産業のサプライチェーンは、販売する国や地域での商品企画・設計に始まりますが、原材料の生産・調達、製品の工場での生産は、ほとんどが中国やASEANの新興諸国で行われ、輸送されてくる国際的なネットワークになっています。

当社は、2017年10月に制定した「ワコールグループCSR調達ガイドライン」において、「社会的責任を果たしていくためには、商品の生産に関わるすべてのお取引先と緊密なパートナーシップを築き、『品質』『価格』『納期』のみならず、『人権』『労働慣行』『環境』『倫理』などの社会的要求事項についても、お取引先とともに遵守・尊重しなければなりません」と宣言し、2018年2月からガイドラインに定める内容の遵守状況を的確に把握することで、継続的な是正・改善につなげるサイクルの運用を開始しました。また、2018年5月からは開示に賛同していただいた製造委託先工場の基本情報を当社WEBサイトで公開しています。

公開している製造委託先工場の基本情報（2021年8月現在）

| 会社名 | 工場数 | 対象工場による製造が仕入高に占める割合 | | 更新回数 |
|---|---|---|---|---|
| ワコール | 150 | 96.5% | インナーウェア、パジャマ、ルームウェア、ベビー・マタニティウェア、レッグウェア、スポーツウェアの仕入高に対する割合 | 4回 |
| ルシアン | 12 | 99.5% | インナーウェア仕入高に対する割合 | 4回 |
| ピーチ・ジョン | 31 | 90% | インナーウェア、ルームウェア、ファッションウェア仕入高に対する割合 | 4回 |
| Ai | 12 | 78% | スイムウェア、インナーウェア仕入高に対する割合 | 3回 |
| ウンナナクール | 4 | 98.9% | インナーウェア、パジャマ、ルームウェアの仕入高に対する割合 | 1回 |
| 海外* | 32 | 100% | インナーウェアの仕入高に対する割合 | 1回 |

*米国ワコール、中国ワコール、ワコールヨーロッパ

### 2021年3月期の取り組み内容と2022年3月期の計画

**2021年3月期取り組み内容**

- CSR調達活動の対象範囲拡大
  （株）ワコールのWEB販売事業部、（株）ウンナナクール及び、海外連結子会社（米国ワコール、中国ワコール、ワコールヨーロッパ）の製造委託先工場を調査対象に追加
- 自己評価を通じた「CSR調達ガイドライン」に定める内容の遵守状況の確認
  （株）ワコール（ワコールブランド、ウイングブランドのインナーウェア）、（株）ルシアン、（株）ピーチ・ジョン、（株）Aiの仕入先115工場を対象に2度目となる自己評価を実施
- 現地監査は、感染症の影響により延期
  （一部国内工場では、製造委託先工場了承の上、実施）

**2022年3月期計画**

- コロナ禍における現地監査手法（リモート監査）の確立
- CSR調達活動の対象範囲拡大（衣料品以外の品種を製造する委託先工場を調査対象に追加予定）
- 自己評価を通じた「CSR調達ガイドライン」に定める内容の遵守状況の確認
  （株）ワコール（ワコールブランド、ウイングブランドのインナーウェア以外、及び第3ブランドグループ（アンフィブランドなど））の仕入先工場を対象に2度目の自己評価を実施
- 現地監査は感染症の影響を確認の上、実施予定

**今後の課題**

### 人権デューデリジェンス実施体制の構築

当社グループは、世界中の国や地域でグローバルに事業を展開していることから、人権に対する配慮は相互信頼経営の基盤であると考え、国際規範に準拠した人権に対する基本的な考え方をグループ従業員に示すとともに、具体的な指針を「ワコールの行動指針」に定め、取り組みを推進してきました。しかし、企業の人権尊重への取り組みの重要性は増しており、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した人権デューデリジェンスの考え方に基づいて、人権への悪影響を低減・防止し、人権尊重への取り組みを強化する必要があると認識しています。2022年3月期は当社グループの人権方針の改定とともに、人権デューデリジェンス実施体制の構築を進めていきます。





### 製造委託先工場のモニタリングと評価

当社グループは、サプライチェーン上の人権尊重や労働環境、安全衛生の継続的な改善を重要な課題として捉えており、「ワコールグループCSR調達ガイドライン」で定める内容の遵守状況について、モニタリング活動を行っています。

**CSR調達活動の実践サイクル**

当社グループでは、「ワコールグループCSR調達ガイドライン」に定める内容の遵守状況について、製造委託先工場の自己評価等によるモニタリングに始まり、分析・評価フィードバック、是正・改善計画、フォローアップという、一連のサイクルを機能させることによって、的確に状況を把握し継続的に是正・改善を行う取り組みを2018年1月より開始しました。何か課題が見つかれば製造委託先工場と一緒に改善策を考え、継続的に支援を行います。

図1 は、CSR調達ガイドラインに定める遵守状況を的確に把握し、継続的に是正・改善に取り組むための一連のサイクルを表したものです。

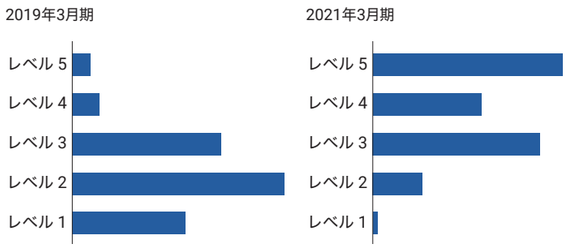
図1

| | |
|---|---|
| STEP 1 モニタリング | 外部の第三者機関とともに作成した「自己評価シート（選択方式で約60項目）」を活用し、製造委託先工場自らが自社の遵守状況を評価し、提出していただきます。 |
| STEP 2 分析・評価・フィードバック | STEP1で提出していただいた自己評価シートを当社が分析し、不確かな点を製造委託先工場に再確認します。再確認後の評価結果と、是正・改善要求事項については、製造委託先工場にフィードバックするとともに、緊急性のある是正・改善要求事項を確認した場合には、当社による現地監査の実施を通知します。 |
| STEP 3 是正・改善計画 | 対象の製造委託先工場は、当社からの要求事項について、是正・改善計画を立て提出していただきます。また、現地監査の対象となった製造委託先工場には、計画書策定前に事実確認書を発行した上で、当社による現地監査を実施します。 |
| STEP 4 フォローアップ | 是正・改善実施報告書に対するフォローアップを踏まえて、定期的な自己評価を継続します。フォローアップ時に複数回連続して是正・改善が確認されなかった場合には、取引の中止や見直しも検討します。 |

**モニタリング結果（製造委託先工場における自己評価の結果）**

自己評価は2年ごとに実施しており、2021年3月期については合計115工場が2回目となる自己評価を実施しました。2年前の調査では、多くの工場で安全衛生に関する指摘事項がありましたが、今回の監査においては多くの工場で改善が図れていました。引き続き、サプライチェーン全体の透明性を高める取り組みを継続していきます。

自己評価更新結果の比較（評価基準：レベル5（高評価）～レベル1（低評価））




| 評価 | 内容 |
|---|---|
| レベル5 | 模範となるレベル。今後も高い水準の維持が望まれる。 |
| レベル4 | 総合的には平均以上のレベル。今後、より高い水準を目指すことが望まれる。 |
| レベル3 | 全体的な底上げが期待されるレベル。 |
| レベル2 | 全体的な底上げが強く期待されるレベル。 |
| レベル1 | ただちに改善を要求する重大な問題（取引中止レベルの高リスク）が存在する。 |